

お茶の水女子大学附属小学校の取り組み

新教科「てつがく」の創成

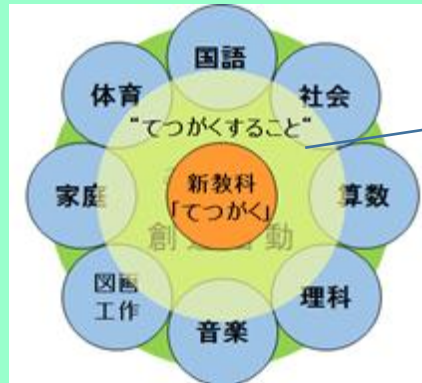
文部科学省研究開発学校指定 2015年-2018年

新教科「てつがく」の目標

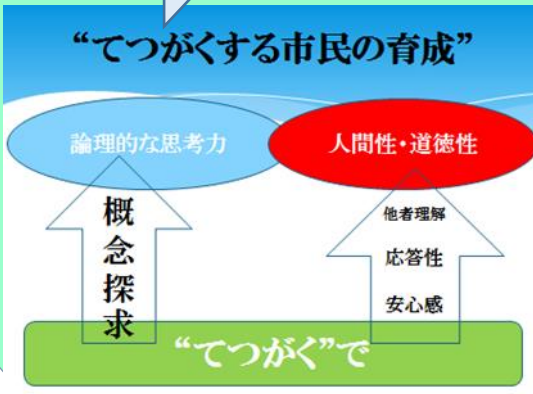
創造的によりよく生きる基盤となる道徳性や人間性を養うために、自明と思われる価値やことごとについて、理性や感性を働かせて深く考えねばり強く問い続けたり、広く思いを巡らせ多様に考えたりすることを通して、民主的な社会を支える市民の一員として、前向きに他者とかわり行動する姿勢を育む。

価値や事柄の本質を探究する問いを基盤に「〇〇とは何か？」という概念を探究し続ける学びをつくる。お茶の水女子大学附属小学校が捉える「人間性・道徳性」とは、「他者の考えに耳を傾け、主張を理解しようとする姿勢や、他者の主張の背景にある履歴や価値観を受け止めて応答しようとする態度」と、考えている。

新教科「てつがく」をコアにしたカリキュラムマネジメントのイメージ



てつがくすること
“問い”をもち、他者の声に耳を傾けて聴き、安心して自分の考えを言え、対話などを通し、考え続ける



本校は、2018年に

創立 140 周年を迎えます

未来へつながる研究

これまでの主な研究

文部科学省研究開発学校指定

- 小学校における『公共性』を育むシティズンシップ教育(2008-2010)
- 幼・小・中 12年間の学びの適時性と連続性を考えた連携型一貫カリキュラムの研究開発(2005-2007)
- 関わりあって学ぶ力を育成する教育内容・方法の開発(幼小連携)(2001-2003)
- 小・中の連携を図る教育課程の研究開発(1997-2000)
- 小学校において児童の学習実態に対応して、基礎的な学力の一層の定着を図る研究開発(1992-1994)
- 幼稚園及び小学校の教育の連携を図る教育課程の研究(1985-1987)
- 低学年における合科的総合的方法に関する研究(1977-1978)

文部科学省指定

- スーパー食育スクール(2014-2015)

社会への貢献

学習指導要領への提言

公開研究会

教育図書出版

研修の受け入れ

講師の派遣 等

幼小接続期

高校の「公共」を生み出した
シティズンシップ教育

「生活科」や「総合的な学習の時間」を生み出した創造活動

(お問い合わせ先) 〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 TEL03-5978-5875 Fax03-5978-5872

<http://www.fz.ocha.ac.jp/fs/> 神戸佳子 (副校長)